

みやび通信

つれづれなるままにK A Z Uがつづる

＊ ＊ みやび通信 第1号(通刊第37号) 2002 (平成14) 年10月27日 発行：K A Z U ＊ ＊

第 1 号

オークランドの動物 セミ

オークランドには2種のセミがいます。Small cicada (コセミ) と Large cicada (オオセミ)。

SMALL CICADA

SMALL CICADA は体長20mmくらいの小さなセミ。羽は透明で日本のチッチセミより大きくてニイニイセミより小さい。12月初めから2月にかけてチーと鳴く。垣根や小木、草、石垣、果ては地面にまで何にでもとまるが、余り高い所にはとまらない。飛び立ってもすぐにとまる。私がオークランドに来て初めて出会った昆虫がこのセミ。



LARGE CICADA

一方、LARGE CICADA は体長40mmくらい、透明の羽、体は黒褐色。12月末、クリスマス頃から3月初め頃まで、日本に似た声のセミはいないのでちょっと表現しづらい声で鳴く。マオリ語ではキヒキヒキヒ...と鳴くので "kihikihi" と呼ぶ。私はこのセミに出会う前にマオリ語の名前を知ってしまったので、先入観からかやはキヒキヒ...と聞こえてしまう。晴天の午前中を中心に鳴き、曇った日や夕方には鳴かない。結構やかましいセミだと思う。



ニュージーランドでは子供が昆虫採集をする習慣がないので、セミの方も余り人を警戒しない。網さえあれば採るのは簡単。クリスマスホリデーで子供のいない小学校の校庭はねらい目。数の多い割にぬけがらは余り見ない。

